



河中だより

- 実力を養う
- 友愛を深める
- 品性を高める

《第18号》
2023年1月20日発行
宇都宮市立河内中学校
校長 森下 薫

冬休み明け全校集会を行いました

1月10日（火）から学校が再開されました。授業を前に全校集会を行い、各学年代表生徒から新年の抱負が発表されました。それぞれに、今年1年に向けての高い志を聞くことができました。生徒の皆さんには、目標の実現に向けて頑張ってもらいたいと思います。最後に、校長からは「うさぎとかめ」より

○かめのようにこつこつと取り組むことは大切

○現代のICT社会において、うさぎのように飛び跳ねていくようなスピード感が必要

瞬時に判断を迫られる機会も増えてくる

ただし、心身を休めることも重要 立ち止まって振り返ることも大切

今の時代は、かめとうさぎの両方を兼ね備えなければならない、との話をしました。

また、それぞれの目線で見ると、「うさぎはまだ追いつかないかめを見ている」「かめはゴールだけを見ている」ことも、競走の勝ち負けに影響したのではないのでしょうか。

○周りから影響されることなく、信念をもってゴールを目指すこと

は、成功に近づくための近道と考えます。うさぎ年の今年、日々の取組について考えてみてください。

代表生徒の発表



1年生代表



2年生代表



3年生代表

職員研修（道徳）を行いました

12月21日（水）に道徳の職員研修がありました。まず、5校時、1年3組において研究授業を行いました。生徒たちは仲間の意見を聞く中、自分の考えもしっかりと発表していました。また、後半には授業研究会において授業の振り返りと、市教育委員会から派遣された教科指導員の先生から指導・助言をいただきました。明日からの授業に役立てていきたいです。



3年生 私立高校入試が続いています

今年に入り、4日（水）から私立高校の入学試験が始まりました。第1回入試の結果が出て、ほっとしている人もいるかと思いますが、今後、第2回目をチャレンジする人もいますし、県立高校の特色選抜もあと10日ほどです。3年生においては、時間に流されることなく一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。私立高校に進学を決めた人は、卒業までの間、受験からのプレッシャーから解放されることとなります。しかし、進学後のことを考えて、この後も気を抜かずに学習を続けてください。また、これからが本番の人も多くいますので、ぜひその人たちが100%の力を発揮できるようサポートをお願いします。
受験は団体戦：互いに切磋琢磨し、学級や学年の雰囲気の良い状態で入学試験に臨んでほしいと思います。

出前福祉共育講座がありました

1月13日（金）に、1年生が手話体験と点字体験を行いました。講師の先生からの講話に続いて、実際に手話と点字の体験をしました。手話では手・指を動かして言葉にし、点字では自分の名前を打ってみました。今回の体験は、自分ができる福祉活動は何か、みんながよりよく暮らすためにどうしたらよいかを考える機会にもなりました。



しらさぎ学級交流会を開催

1月17日（火）に岡本西小学校児童10名の皆さんと交流会を行いました。本校しらさぎ学級の生徒によるスライドでの学校紹介や校舎案内、最後にレクリエーションをして楽しい時間を過ごしました。短い時間でしたが、交流を深めることができました。



薬物乱用防止教室を行いました

「素晴らしい明日のために・・・違法薬物『買わない』『使わない』『かかわらない』」

1月18日（水）5校時、体育館において薬物乱用防止教室が行われました。今回は、劇団三十六計の皆さんによる劇を鑑賞しました。劇をとおして薬物の知識やその怖さを知るとともに、薬物を勧められたときにははっきりNOと言える勇気と、絶対にかかわらないという強い意志をもつことを学びました。

